

平成31年 3月27日

平成31年

第3回教育委員会定例会会議録

大田区 教育委員会室

平成 31 年 3 月 27 日（水曜日）午後 2 時から

### 1 出席委員（6名）

小 黒 仁 史		教育長
三 留 利 夫	委 員	教育長職務代理者
弘 瀬 知江子	委 員	
後 藤 貴美子	委 員	
高 橋 幸 子	委 員	
深 澤 佳 己	委 員	

### 2 出席職員（10名）

教育総務部長	後 藤 清
教育総務課長	森 岡 剛
教育施設担当課長	石 井 信 一
副参事（教育政策担当）	北 村 操
学務課長	杉 山 良 樹
指導課長（幼児教育センター所長兼務）	増 田 亮
副参事	田 井 敏 行
学校職員担当課長	池 一 彦
教育センター所長	柿 本 伸 二
大田図書館長	中 平 美 雪

### 3 日程

日程第1 教育長の報告事項

日程第2 「議案審議」

第10号議案 大田区教育委員会事務局処務規則の一部を改正する規則

第11号議案 大田区教育委員会が管理する公文書の開示に関する規則の一部を改正する規則

第12号議案 大田区教育委員会が管理する個人情報の保護に関する規則の一部を改正する規則

第13号議案 学校職員服務取扱規程の一部を改正する訓令

第15号議案 大田区教育委員会非常勤職員の報酬の額に関する規則の一部を改正する規則

~~~~~  
(午後 2 時00分開会)

#### ○教育長

それでは、ただいまから、平成31年第3回大田区教育委員会定例会を開催いたします。本日は傍聴希望者がおります。

委員の皆様には傍聴許可を求めます。許可してよろしいでしょうか。

(「はい」との声あり)

○教育長

傍聴を許可いたします。

(傍聴者入室)

○教育長

それでは、大田区教育委員会傍聴規則第7条により、傍聴人は、議場における言論に対して批評を加え、または拍手その他の方法により公然と可否を表明することは禁止されております。ご協力をよろしくお願いいたします。

これより審議に入ります。本日の出席委員数は定足数を満たしておりますので、会議は成立しております。

まず、会議録署名委員に深澤委員を指名いたします。よろしくお願いいたします。

それでは続いて、本日の日程第1について、事務局職員の説明を求めます。

○事務局職員

日程第1は「教育長の報告事項」でございます。

○教育長

本日は、区立の小中学校の卒業式について、それから、先日行われました志茂田小学校及び大森第四小学校の新校舎の内覧会についてご報告させていただきます。

まず、卒業式でございますけれども、私は、蓮沼中学校と田園調布小学校の卒業式に出席させていただきました。

蓮沼中学校の卒業式は、大変に落ち着いた雰囲気の中で行われました。卒業生の真摯な表情と所作が印象的でした。真面目に一生懸命に中学校生活を送ってきたのだなということが伺えました。

卒業生の担任の先生は、男性2名、女性1名でございました。担任の先生が呼名をすると、中学生ですが、はっきりと壇上で返事をして証書を受け取ってございました。その様子を見て、卒業生と先生方の信頼関係の強さが伺えました。

座席は、卒業生の後ろに保護者の席があり、その後ろに在校生席がございました。卒業証書の授与や雛壇で歌う卒業生の顔がよく見えるように昨年度から座席を変えたようです。保護者とともに学校が子どもたちを育ててきた、そういう印象を強く受けたところでございます。卒業式の感動は、合唱の時に高まります。卒業生、在校生、非常に大きな歌声が体育館に響き渡り、涙する生徒もたくさんおりました。中学校の卒業式らしい感動のあるものでした。

小学校は、田園調布小学校の卒業式に行っていました。小学校の卒業式では、羽織袴の子どもが男子も、女子も各クラスに数名ずつおりました。

田園調布小学校の卒業式で印象に残ったのは、祝辞を読んでいる時の子どもたちの表情です。真剣なまなざしをこちらに向けて、一生懸命に聞いてくれました。

今年の祝辞には、勝海舟のことを取り上げましたが、西郷隆盛との信頼関係を築き、江戸を戦場にしないという思いを共有して、江戸城開場を行ったこと、立場や考えの違いを乗り越えて、課題解決を図ることの大切さを、祝辞の言葉からお感じ取ってくれたのではないかと思います。

田園調布小学校でも、卒業生が雛壇に上り、大きな声で別れの言葉を述べ、一生懸命に歌う姿があり、感動いたしました。

卒業式は、学校の儀式的な行事として、非常に大切な行事であると感じています。卒業式を通して、学校生活を振り返り、自分の成長を自覚することやこれまで育ててくれた先生や保護者に感謝することをしっかりと伝えることも人間形成にとって必要であると感じています。

次に、志茂田小学校と大森第四小学校の新校舎の内覧会について報告します。

志茂田小学校の新校舎は、志茂田中学校と敷地を共有しており、広々とした校舎の造りが印象的でした。校舎中央の広い階段は、学校の全体集会や発表にも活用できると思えました。

また、屋上のプールも中学校と併せると三つあり、プールサイドも大変に広々と活用しやすいものとなっております。プールの水は、地下のタンクに溜めておくことができ、学年に合わせて深さを調整するためにその都度水を捨てる必要がなくなり、経済的であると思えました。

教室も非常に開放的で、オープンスペースになっており、子どもたちが探求的なグループ学習の提供という点で、とても良いと思えました。オープンスペースを利用して、活動的な学習を展開して欲しいと感じました。

一方、大森第四小学校の新校舎は、志茂田小学校ほど広々とした解放感はありませんでしたが、各教室に工夫がされておりました。

大森第四小学校は、管楽器のブラスバンドが非常に音楽活動を一生懸命やっておりますが、立派で広々とした音楽室が二つ並んでいたり、また、海苔の資料室があったり、図工室の外に広々としたベランダがあるなど、学校の特色ある教育活動を活かす校舎の造りに工夫されているところが良いと思えました。

環境は教育であるという言葉がありますが、教育環境を変えることで、学習内容や方法が変わる場合もあります。2校とも新校舎での学校生活を子どもたちが送る中で、新たな学びの機会や成果が期待できると考えます。

本年度は11校の校舎改築があり、来年度は2校ということで、校舎改築については、これから教育委員会でも力を入れて進めるところでございます。各学校の教育の特色が活きる教育施設の整備という視点を大事にしながら、また、地域に学び、コミュニティの拠点としての役割を果たせるよう、改築に取り組み、子どもたちの教育環境をしっかりと整備していくことの重要性を2校の内覧会で、改めて強く感じたところです。

私からの報告は以上とさせていただきます。

何かご意見、ご質問、または委員の皆さんも校舎の内覧会等見ていただき、また、卒業式のほうにご参加いただいておりますので、何かご意見がありましたら、いただければと思います。

○後藤委員

後藤です。

私は、3月22日に西六郷小学校の卒業式に出席させていただきました。息子が卒業生ということで、いろいろな思いが込み上げてくる卒業式ではあったのですが、教育委員として参列させていただきました。

印象に残ったことは、在校生代表で5年生が出席していたのですが、卒業生が卒業証書授与をしている最中に、数名の子どもの具合が悪くなってしまいまして、先生に連れられて退場する、そして、また具合が良くなって会場に戻ってくるといったような場面がありました。

ここ近年感じるところではあるのですが、小学校高学年、5年生、6年生での心の成長が、大変大きく目に映る場面がたくさんありました。その中で、やはり体の成長というところでは、家庭で一番大切にしなければいけないのではないかなという健康面というところで、朝ご飯をしっかりと食べる、睡眠を十分にとる、そういった子どもの成長に大変重要な健康面というところを、家庭でいま一度見直していく必要があるのかなと思いました。

体が健康で、初めて心の成長と相まって、子どもは大きく成長できると思いますので、心が特に大きく成長する年代には、家庭ではより一層体の成長の面でも今以上に目を向けて、しっかり見つめていくことが必要ではないかなと感じました。

6年生は、大きく成長した容姿で、卒業生として、今までお世話になった学校、先生、友達、家族に感謝をして、しっかり学校を巣立って行く。そして、在校生に、これからの西六郷小学校をお願いしますといった、きちんとバトンを渡すというような姿も式の中できちんと表れておりましたし、所作とか態度、それから姿勢といったところでも、大変美しく式に参列していて、しっかりとした自覚をもって卒業するといったような様子が見受けられました。

卒業生に関してもう一つ印象に残ったのが上履きの手入れです。これは昨年、私が中学校の卒業式に参列させていただいたときに、美しさが目についたところでしたが、今回は西六郷小学校で、事前に先生方が上履きをきれいにして卒業式を迎えましょうという指導がきちんとありまして、きちんと皆さん、子どもたちも手入れをしてきれいな上履きで卒業式を迎えたといったところです。

また、染谷校長先生は卒業生一人ずつに、「おめでとう」と声かけをしていただいて証書を手渡すといった、見ていても大変清々しい場面を見受けた卒業式でありました。

3月16日には、志茂田小学校の内覧会に行かせていただきました。大変きれいで、一番印象に残ったのはとにかく広いということです。全体がとても広々とした解放感のある学校だなという印象を受けました。そして、その広い中にも、壁面の色や廊下の色、壁材は、大変温かみを感じる雰囲気でした。

そして、校舎の中に大変大きな大階段というような、幅の広い階段がありまして、こちらは、子どもたちの昇降だけではなく、教育活動にも何か工夫をして使えるのではないかなと思った次第です。例えば、体育館のひな壇に上がって行うようなこと、歌を歌うことや、楽器を演奏すること等、これからの使い方にも大きく期待を持てる階段ではないかなと思いました。

その大階段を利用してもらいたいなという思いと、一方では、とても幅の広い階段です

ので、安全指導というところでは、徹底した、安全に過ごせる指導が重要であると思った次第でございます。

志茂田小学校と志茂田中学校は、小中一貫教育ということで、今後は設置してある渡り廊下を利用し、小学生と中学生が、日頃の教育の中で、又、学校生活の中で行き来をしながら、小学生は中学生をお手本として、中学生は小学生を注視できるような関係が育まれる環境であると、より良いと思いました。

環境が整備されると、それなりによい点とやはり気をつけていかななくてはいけないという点が、必ず並行して存在すると思いますので、私たちも、そういった点では広い視野でこれからも子どもたちの成長を見守り見続けていきたいと思えます。

私からは以上です。

#### ○深澤委員

深澤です。

私は、3月20日に蒲田中学校の卒業式に行きまいりました。卒業生が75人と小規模な学校で、非常にアットホームな印象を受けました。

私が大変いいなと思えたのは、来賓に地域の方々が十数名いらっしゃって、その方々が、非常にコミュニケーションがとれているということです。卒業式の最後に蒲田中学校の校歌を歌う場面で、一番大きい声で歌っていたのは、地域の方々というぐらいに熱唱されているのです。それを聞いて、あ、地域の方々の学校への愛着というのは深いものがあるのだなと思えました。また、地域のあたたかい眼差しで、卒業をお祝いしていただけるということは、卒業した子どもたちの成長にとって非常にプラスになるということを感じました。

志茂田小学校の内覧につきましては、後藤委員が余すところなくお話くださいました。私も同じように印象を受けておりまして、あの広々とした廊下や大階段というのは非常に印象的でした。こういうところで他学年とも交流を深めて、小中一貫校のモデル校ということで、小中学校の交流があるということも含めると、非常に恵まれた環境であるなということを感じました。

以上です。

#### ○高橋委員

高橋です。

卒業式は、大森第八中学校と南六郷小学校に行きまいりました。特に気になったところだけ発言させていただきます。

大森第八中学校は、卒業証書をもらう前に校歌を歌いました。これは、やはり卒業していく3年生は、校歌というものには思い入れがあるので、いいなと思えました。少し緊張もほぐれるのかなとも思いました。

それから、別れの言葉なのですが、特別支援学級の代表の生徒と2人で交互にお話ししていました。

また、卒業生が式の歌を歌うのですが、「河口」という初めて聞いた曲で、詩の冒頭に「フィナーレ」という言葉があり、やはり卒業式にふさわしい曲なのかなとも思いました。

とてもすばらしいハーモニーで、男子生徒も大きな声で歌っていて感動しました。

南六郷小学校では、62人の卒業生なのですが、自分の夢を発表してから卒業証書を受け取っていました。その中で一番印象に残ったのは、教育委員会に勤めたいという子がいたことです。

玄関に大きなクスノキがあって、それがシンボルツリーで、子どもたちも、とてもそれを自慢にしているようなところがありまして、全体的に卒業式は温かい雰囲気でした。

それから新校舎の内覧会で、志茂田小学校は、プールとか図書室など、中学校と一緒に使うというところがあって、図書室はまだ整備されていなかったのですが、小学生と中学生と一緒に図書室で本を読んでいる姿を思い浮かべると、とてもいいと思いました。

教室もスライドドアでオープンになっていますので、広々としてすばらしい学校にできていました。

それから、大森第四小学校は、1階の体育館の舞台奥に防災備蓄倉庫があって、地域の人としては災害拠点にもなっておりますし、とても使いやすいのではないかなとうらやましく思いました。それから、地域集会室とノリの資料室もありまして、地域も念頭に置いた学校ができているなと感じました。

もう一点、教育講座に出たので、その話をします。

北糀谷小学校で、体育健康教育事業地区公開講座というのがありまして、姿勢教室で、背中を伸ばして座り続けるとスポーツがうまくなる、頭の回転が速くなるという碓田拓磨先生のお話でしたが、低学年と保護者と地域の方々が参加して、聞くだけではなく、実際にキャットレッチという猫背のストレッチを体験してきました。

子どもたちが戻ってからは、保護者に、一応45分座り続けるという話だったのですが、15分でいいので一緒にやってみてくださいという指導がありました。これから何か授業公開に行ったときに、どんな感じで姿勢が正しくされているのか、興味のあるところです。

以上です。

## ○弘瀬委員

弘瀬です。

羽田中学校の卒業式に出席してきました。地域の方たちの参加が多くて、温かみを感じる式でした。昨年まで教育委員をなさっていた鈴木先生がいらしたので、ほっとしました。

入新井第五小学校の卒業式にも出席してまいりました。卒業生の中に気分が悪くなった方がいらっしゃいましたが、隣の方が声をかけてくれたので最後まで式に参列することができていました。

気分が悪くなったりするのは、医師の立場から言えば過度の緊張だとかストレスなどによる血管迷走神経反応で自律神経障害を起こした結果です。クラス全体の雰囲気にも関わっているみたいです。今回隣の友達が声をかけてくれたことで事なきを得ることが出来ました。

卒業式の服装は楽しみの一つです。去年は、羽織はかまの子たちがいましたが今年は少なかったようです。中学の制服を注文しに行った際に、卒業式に着る服を貸してくれるところがあるとお聞きしました。それを利用されるのもいいですね。

卒業式は、その学校あるいは卒業生が毎年趣向を凝らし、厳粛な中にも温かみのある素晴らしい式で毎年感動します。

志茂田小学校の内覧会にも出席してきました。皆さんと同じように幅広い階段に圧倒されました。階段を上手に利用していただきたいと思いました。

さらに注目したのが曲面黒板でした。黒板というのは平らだとずっと思っていたのですが、今回初めて曲面黒板をみました。平面だと座席の位置によっては見えにくいところも出てきますが、曲面黒板ではどの位置から見ても同じように見えることはいいことで、その配慮に感心いたしました。

以上です。

### ○三留委員

2月26日にあった文部科学省で全国市町村教育委員研究協議会がございました。私は、「学校における働き方改革」についてのグループに参加してきましたので、その報告を先にさせていただきたいと思います。

担当者のほうから、初等、中等教育の施策について話を聞いた後、教育における現代的な課題についてグループに分かれて、各県の市区町村の教育委員と意見交換をいたしました。

グループの話し合いの中で、やはり学校における働き方改革というのが、どの都道府県の市区町村でも喫緊の課題になっていると、そういう感じがいたしました。

参加の教育委員の話を聞くと、内容的には、例えば校務支援システムの設置であるとか、部活動支援員を設置するというようなこと、大田区と同じようなことをしているのですが、大田区はそれを先行的にやってきたということがすばらしいと、私は感じました。内容が年々充実してきているということがとてもいいなと思いますし、部活動支援員の取り組みも、やはり他の市区町村よりも進んだ取り組みを、私はしているという感じがしました。

グループの話し合いの内容を全体に発言する機会得たので、そのときに私が話したのは、やはり指導内容も含めて、スクラップ・アンド・ビルドという考え方も取り入れていかないと、教員の多忙感だとか、残業の減少だとか、そういったことに一気につながるといことにはならないだろうという意見を述べてまいりました。

学習指導要領の策定の計画が先にあると、その後、学校における働き方改革というのが出てきたので、その辺のずれがどうしても出てくるのかなと思います。今後、文部科学省も新しい組織の編成をして、そういった部局をつくっていくという中で、大分変わってくるのではないかなと思いました。

学校における働き方改革につきましては、今年の1月25日に答申が出されて、3月18日には、文部科学事務次官による通達が出されております。これらには、勤務時間に関わることももちろんですが、学校や教師の本来業務に関わることも等が述べられているということで、これらをもとに、区としても一層の対策を進めてもらいたいなと感じました。

施設見学については、もう皆様方がおっしゃったとおりで、私はもう述べることがない

ほど丁寧に説明していただきました。やはり施設をしっかりつくっていくということで、子どもたちの教育の充実につなげていくということが大変重要だなということを、私も感じました。

それから卒業式は、大森第四小学校と嶺町小に行ってみましたが、どちらも大変厳粛で感動的な卒業式でした。どちらも子供たちの話す言葉や合唱がすばらしく、とてもいい卒業式に参加できたという実感がもてました。

以上でございます。

#### ○教育長

それではですね、次の日程に移りたいと思います。

日程第2については、事務局職員の説明を求めます。

#### ○事務局職員

日程第2は「議案審議」でございます。

第10号議案から第15号議案まで、計5件の議案を読み上げます。

第10号議案 大田区教育委員会事務局処務規則の一部を改正する規則、第11号議案 大田区教育委員会が管理する公文書の開示に関する規則の一部を改正する規則、第12号議案 大田区教育委員会が管理する個人情報の保護に関する規則の一部を改正する規則、第13号議案 学校職員服務取扱規程の一部を改正する訓令、第15号議案 大田区教育委員会非常勤職員の報酬の額に関する規則の一部を改正する規則。

以上でございます。よろしくお願いいたします。

#### ○教育長

ただいまの議案について、事務局職員の説明を求めます。

#### ○教育総務課長

それでは、第10号議案から第15号議案の5件を説明させていただきます。

初めに、第10号議案 大田区教育委員会事務局処務規則の一部を改正する規則でございます。

これは、平成31年度の組織改正に伴いまして、学務課に学校情報化推進担当係長を設置するほか、教育総務課私学行政担当係長並びに学務課保健給食係の事務分掌に係る文言整理を行うため、所要の改正を行うものでございます。

次に、第11号議案 大田区教育委員会が管理する公文書の開示に関する規則の一部を改正する規則でございます。

これは、公文書の開示可否の決定者につきまして、大田区教育委員会の権限の委任に関する規則におけます委任除外事項と本規則との整合性を図るほか、行政不服審査法の改正に伴いまして、所要の改正を行うものでございます。

なお、第12号議案 大田区教育委員会が管理する個人情報の保護に関する規則の一部を改正する規則の改正理由及び改正内容につきましても、ただいまご説明した第11号議案と同様でございます。

次に、第 13 号議案 学校職員服務取扱規程の一部を改正する訓令でございます。

本年 7 月に、いわゆる J I S 規格を定めております工業標準化法の改正が予定されておりました、「日本工業規格」が「日本産業規格」に変更となります。そのため、本訓令の様式に表記されております「日本興業規格 A 列 4 番」という表記を、この際、削除するというものでございます。

最後に、第 15 号議案 大田区教育委員会非常勤職員の報酬の額に関する規則の一部を改正する規則でございます。

これは、非常勤職員であります部活動指導員につきまして、部活動指導中の事故といった緊急対応を想定しまして、超過勤務手当を支給できるよう、所要の改正を行うものでございます。

説明は以上でございます。よろしくご審議のほど、お願いいたします。

#### ○教育長

それでは、ただいまご説明いただきました。

何かご意見やご質問はありますでしょうか。

#### ○三留委員

15 号議案、大田区教育委員会非常勤職員の報酬の額に関する規則の一部を改正する規則についてです。先ほど学校における働き方改革について話をしたわけですがけれども、部活動指導員については、大会引率であるとか試合等での監督という仕事も想定されます。今、緊急時のというお話があったのですけれども、そういったことも多分超勤の対象になるのだらうと。そういうことを考えたときに、必要の範囲というふうに私は考えました。

その他の改正につきましては、組織改正、様式改正、文言整理ということが主なので、特に問題はないと思います。

それから、13 号議案の学校職員服務取扱規程については、今後、出退勤の出勤簿の、出退勤の様態が変わってくれば、関係法規とともに多分改正になるというふうに思っております。

ただ、この規定につきましては、教員の服務について大変重要な記載がありますので、年度当初であるとか服務研修の際には、ぜひしっかり周知活用してもらいたいというふうに思っておりますので、よろしくお願いたします。

#### ○教育長

ほかにご意見は、よろしいですか。

それでは、第 10、11、12、13、15 号議案について、原案どおり決定いたします。

それでは、これもちまして、平成 31 年第 3 回教育委員会定例会を閉会いたします。

(午後 2 時 38 分閉会)